※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　新倫理」（清水書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・倫理は、「人間とは何か」といった根源的な問いを発しながら、自らの在り方・生き方を探究していく科目です。
・授業では、人間存在への問いを模索した古今東西の先人たちの知恵に学びながら、社会生きる人間としての在り方・生き方についての思索を深めていきます。社会科の勉強といえば、用語を覚えることに目がいきがちになりますが、倫理では、先人たちがその用語を使って何を言っているのかを理解することに注力してください。
・私たちが生きる社会は、生命や環境などをめぐる倫理的な問題のほかに、異文化や他宗教との衝突、紛争や貧困など多くの解決すべき課題が山積しています。みなさんが、こうした問題や課題を解決していくための手がかりが、授業を通して実感できたとすれば、この科目の意義がつかめたと言えるでしょう。
・なお、公共で使用した教科書、ワークブック、資料集は、自学自習に活用することができます。また、教科書に記載されているＱＲコードを適宜参照して学習を進めてください。

2　学習の到達目標

知識・技能…個性、認知、幸福、徳、善、正義、義務、真理、存在といったキーワードに着目して、人間の心の在り方、人生観、倫理観、世界観について理解する。
思考・判断・表現…古今東西の先人たちの思想をてがかりに、人間としての在り方生き方や現代の倫理的課題について表現する。
主体的に学習に取り組む態度…人間としての在り方生き方について主体的に探究したり、他者とともに現代の倫理的課題を解決しようとしたりする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	個性、認知、幸福、徳、善、正義、義務、真理、存在といったキーワードに着目して、人間の心の在り方、人生観、倫理観、世界観について多面的・多角的に考察し、理解している。	個性、認知、幸福、徳、善、正義、義務、真理、存在といったキーワードに着目して、論理的に思考し、説明や対話などの活動を通じて、合理的に意思決定ができる能力を身につけ、合意形成や社会参画に向かう力を高めている。	よりよい社会の実現のために現代の諸課題を主体的に解決しようとすることにより、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	人間としての在り方生き方	西洋思想の源流 東証思想の源流と日本	a:幸福、愛、徳、善などに着目して、さまざまな人生観、倫理観について理解している。 b:先人の思想を基に人間としての在り方生き方について考察、表現している。 c: 考察したことを手掛かりに自分の考えを構築しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
2学期	人間としての在り方生き方	西洋の近代思想 西洋の現代思想 日本の思想 人間の心の在り方	a:正義、義務、真理、存在などに着目して、さまざまな倫理観、世界観について理解している。個性、認知などに着目して人間の心の在り方について理解している。 b:先人の思想や心理学の理論を基に人間としての在り方生き方について考察、表現している。 c: 考察したことを手掛かりに自分の考えを構築しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート
3学期	現代の諸課題と倫理	自然や科学技術に関わる諸課題と倫理 社会と文化に関わる諸課題と倫理	a:先人の思想をてがかりに、現代社会における倫理的課題について理解している。 b:他者との対話などを通して、現代社会における倫理的課題について考察、表現している。 c: 考察したことを手掛かりに自分の考えを構築しようとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度